

地域連携NEWS

メディカルサポートセンター
地域医療連携課

放射線科からのお知らせ

放射線科 部長 西山 正吾

この度2021年5月にX線透視装置を更新いたしました。

新たな装置は従来同様のCアーム多目的デジタルX線TVシステムですが、従来に比し画質改善を図りながら低線量化を達成しています。近年は放射線被ばくに関して患者さんに対する医療被ばく、および医師、看護師など放射線業務従事者の水晶体被曝限度を対象に制度が改正されています。今回更新された装置は被ばくの観点からも患者さん、医療者双方に安全な装置となっています。当装置で可能な検査・手技は消化管造影、透視下内視鏡、嚥下造影、子宮卵管造影、脊髄造影、神経ブロック、胆道・泌尿器系などの透視下IVR、非常時の血管系IVRなど従来から変更はありませんが、透視画像の画質改善や他の装置改良も加わって安全で質の高い医療に寄与すると考えています。

なお、今回の更新に当たり、検査室の換気装置の改善、空気除菌装置（コロナウイルスにも対応）の設置など検査室の感染対策も図っています。

当科では一般撮影装置、CTの更新にあたって被曝低減可能な装置を導入しています。

今後とも被曝を考えた安全な検査を心がけていきますので
当院への患者さんご紹介などよろしくお願い申し上げます。

尚、当科では検査機器の共同利用（検査のみの依頼）を行っています。



CT、MRIに限らず一般撮影、マンモグラフィー、骨塩定量（DEXA）、各種超音波検査（生理検査室）をご依頼の際は地域医療連携室（042-754-3302）までご連絡をお願いします。

検査の適応、安全性確認などのご相談に関しても遠慮なくご連絡をお願いします。

